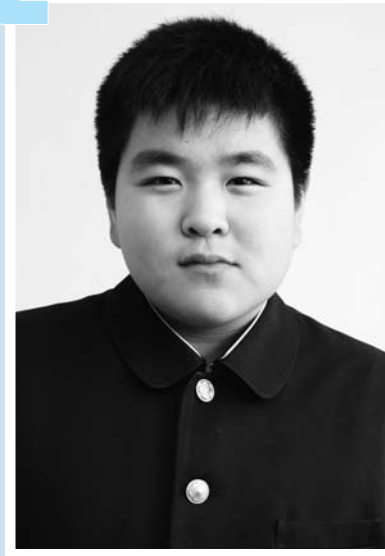


連絡帳 向津具小学校

全校なわとび大会



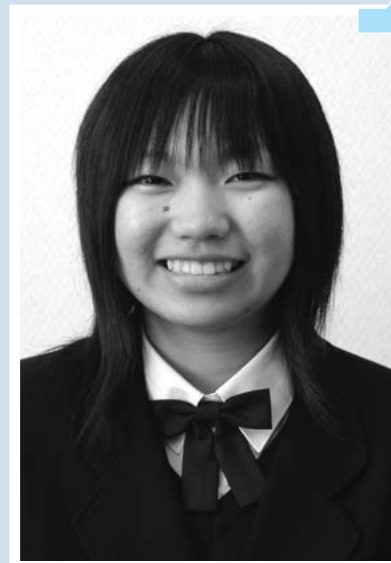
すぎたに しんすけ
杉谷 慎介 さん
向津具小学校 6年

「ドンドンドンドン」
「ギンギンギンギン」
朝からなわとび台でとび音が聞こえてきます。
ほくたちの学校では、毎年2月になわとび大会があります。このなわとび大会に向けて、12月から練習を始めました。毎日、休み時間を利用して、体育館前にあるなわとび台で一生けん命練習します。
また、業間時間には、全校で練習します。自分が挑戦する種目を練習したり、今年から新しく加わった、たてわり班対抗なわとびリレーの練習をしたりしました。
たてわり班対抗リレーでは、ほくたち6年生は、二重とびをします。二重とびは苦手で、練習しても全く



とべませんでした。でも、班のためにがんばろうと本番では2回とべました。さらに、6年生になつてはじめて交差とびやあやとびもとべるようになり、ほくにとって最高の思い出になったなわとび大会でした。

連絡帳 日置農業高校



いけだ さやか
池田 早菜香 さん
日置農業高等学校 2年

沖縄修学旅行で学んだこと

先日、私たちは修学旅行で沖縄に行きました。そこで沖縄の文化や歴史について学んできました。サンシンを弾いたり、ひめゆり部隊の方のお話を聞いたりしました。
私が一番印象に残っていることは、海岸で拾ったガラスを使い、小物を作ったことです。拾っているときはきれいなガラスを探すのに一生懸命でしたが、講師の方のお話を聞いて考えなければならぬことがありました。それは本来海岸に落ちていないはずのガラスが落ちていているということです。
完成した小物はとてもキレイでしたが、海岸に落ちているガラスはただのごみになります。そのごみを拾わなければ海が汚れたり、動物が飲

み込んで死んでしまうかもしれません。これは沖縄の海岸だけに限らず近辺の海でも同じことが言えると思います。
本校では毎年5月に二位ノ浜の清掃を行っており、地域の海を守っていく活動をしています。今まで先輩たちが活動してきた伝統的な行事ですが、今回沖縄で学んできたことを生かしてこの伝統を引き継いでいきたいと思っています。



ガラス拾いの様子

和太鼓チームの仲間たち



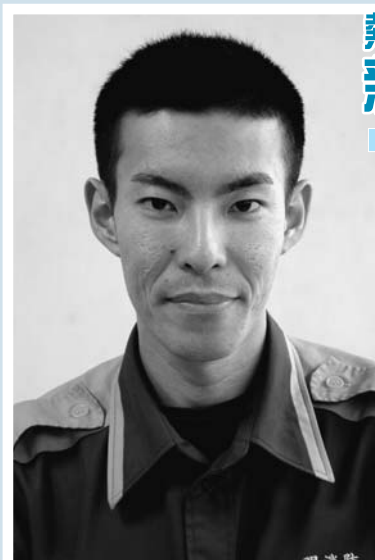
創作和太鼓グループ
こなみかい たくみ
鼓波会／太鼓海クラブ
代表／森野 信夫 さん
http://www.geocities.jp/konami_kai/

鼓波会は、平成4年9月に日置地区で結成された創作和太鼓グループで、「ながと和太鼓フェスティバル」への出演をはじめ、県内外でのイベントや福祉施設の慰問、自主演奏会など、さまざまな演奏活動を行っています。
鼓波会のメンバーは14人で、小学生以下の子どもチーム「太鼓海クラブ」のメンバーは17人。神田小体育館で週2回の練習を行っています。
今はまだ創作和太鼓ですが、これからの練習を重ね、師の教えである「和太鼓の和はチームの和」という基本精神を忘れることなく、いつの日か



「ふるさとの伝承芸能」と認めてもらえるように頑張つていきたいと思っています。
3月30日には、鼓波会と太鼓海クラブの合同演奏会を開催します。多くのみなさんのご来場をお待ちしています。
和太鼓合同演奏会
■とき 3/30(日)13:30
■ところ 長門市中央公民館
※入場無料

熱血！新鮮力 患者さんの立場に立って



ふ る い ま さ き
古井 将揮 さん
長門市消防本部 勤務

※仕事は 中央消防署第3小隊第2分隊に所属し、主に救急救命士として救急活動をしています。
※動機は 小学3年生の時に友人を病気で亡くし、人の命を救う仕事がしたいと思いました。
※心がけていることは 常に患者さんの立場に立ち、患者さんに最も適切な対応をする事です。
※趣味は 体を動かすことが好きなので、暇をみつければ走っています。
※初任給は 家族を食事に招待しました。残りはいつの間にか無くなりました…

※好きなタイプは 落ち着いた感じの人が良いですね、ただいま恋人募集中です！
※結婚は 今24歳ですが、28歳までにはしたいですね…
※自由に一言 まだまだ100分の1人前なので早く一人前になれるよう頑張ります

